



## 2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 株式会社サイバー・バズ 上場取引所 東  
 コード番号 7069 URL <https://www.cyberbuzz.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 彰典  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 和田 瑞樹 TEL 03-6758-4738  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第2四半期の連結業績 (2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	1,611	—	187	—	179	—	136	—
2019年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 136百万円 (—%) 2019年9月期第2四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	37.72	33.76
2019年9月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2019年9月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年9月期第2四半期の数値及び2020年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	2,471	1,937	78.4
2019年9月期	2,212	1,738	78.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 1,937百万円 2019年9月期 1,738百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	22.2	500	15.3	500	21.5	335	21.0	91.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	3,726,000株	2019年9月期	3,421,500株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	93株	2019年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	3,609,450株	2019年9月期2Q	－株

(注) 当社は、2019年9月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年9月期第2四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中間の貿易摩擦や消費税増税などによる国内外経済の不確実性の高まりに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況で推移しております。

当社グループが事業展開を行う2019年の国内インターネット広告市場は、初めてテレビメディア広告市場を超え、前年比19.7%増の2兆1,048億円(注1)と推計されております。また、2019年の国内インフルエンサーマーケティング市場は、前年比21.9%増の267億円と推計され、同市場規模は、2020年に327億円、2028年に933億円(注2)と2019年比3.5倍程度に拡大していくことが予測されております。

このような環境の中、当社グループでは「NINARY」「Ripre」「ポチカム」「to buy」といったInstagramを始めとした各SNSプラットフォームにおけるインフルエンサーを企業マーケティングへ活用する「インフルエンサーサービス」、企業の保有するSNSアカウントの企画・コンサルティングを含めた運用代行を行う「SNSアカウント運用」、「インターネット広告代理販売」及びInstagramに特化した戦略子会社「株式会社glamfirst」の4つのサービスを展開し、企業がSNSプラットフォームを通して消費者へ行うマーケティング活動を総合的に支援して参りました。

サービス別売上高については下記の通りとなります。

インフルエンサーサービスについては、主要顧客を中心にInstagramに対する需要の取り込みを行ったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う一部イベントの開催延期等により、売上高は662百万円となりました。

SNSアカウント運用については、月額単価の上昇及び企画やクリエイティブに係るオプションなどの増加により、売上高は213百万円となりました。

インターネット広告代理販売については、Instagramを始めとする運用型広告が大幅に伸長したことにより、売上高は598百万円となりました。

株式会社glamfirstについては、一部の顧客が当社の運営するインフルエンサーサービスへとシフトしたことや、主要顧客の売上減少等により、売上高は136百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,611百万円、営業利益187百万円、経常利益179百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益136百万円となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、ソーシャルメディアマーケティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注1) 出典：株式会社電通「2019年 日本の広告費」

(注2) 出典：株式会社デジタルインファクト「インフルエンサーマーケティング市場規模2017年-2028年」

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,235百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が78百万円、受取手形及び売掛金が101百万円増加したことによるものであります。固定資産は235百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円増加いたしました。これは、主に有形固定資産が53百万円、敷金及び保証金が50百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,471百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円増加いたしました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は533百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が38百万円減少したものの、買掛金が95百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は533百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円増加いたしました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,937百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円増加いたしました。これは主に資本金31百万円、資本剰余金31百万円、利益剰余金136百万円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は78.4%(前連結会計年度末は78.6%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ78百万円増加し、1,587百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は69百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額95百万円等の資金減少要因があった一方で、税金等調整前四半期純利益204百万円等の資金増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は53百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出45百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は63百万円となりました。これは主に、株式の発行による収入63百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年11月13日の「2019年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想は変更しておりません。なお、新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響は現時点では見通すことが困難なため、業績予想には織り込んでおりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,509,032	1,587,894
受取手形及び売掛金	484,156	585,615
電子記録債権	53,186	17,883
貯蔵品	1,146	1,273
その他	24,022	42,468
流動資産合計	2,071,545	2,235,134
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	56,423	49,606
減価償却累計額	△28,690	△3,550
建物附属設備(純額)	27,732	46,055
工具、器具及び備品	25,328	62,757
減価償却累計額	△7,354	△9,892
工具、器具及び備品(純額)	17,974	52,865
有形固定資産合計	45,706	98,920
無形固定資産		
ソフトウェア	13,450	12,265
ソフトウェア仮勘定	1,787	—
無形固定資産合計	15,237	12,265
投資その他の資産		
繰延税金資産	24,259	18,642
敷金及び保証金	54,419	105,066
その他	1,215	1,053
投資その他の資産合計	79,893	124,761
固定資産合計	140,837	235,947
資産合計	2,212,383	2,471,082
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	133,675	228,934
未払金	104,020	127,983
未払法人税等	108,451	69,637
その他	127,774	106,836
流動負債合計	473,922	533,391
負債合計	473,922	533,391
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	411,610	443,435
資本剰余金	411,610	443,435
利益剰余金	915,240	1,051,403
自己株式	—	△582
株主資本合計	1,738,460	1,937,690
純資産合計	1,738,460	1,937,690
負債純資産合計	2,212,383	2,471,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,611,413
売上原価	698,828
売上総利益	912,584
販売費及び一般管理費	725,403
営業利益	187,181
営業外収益	
雑収入	5,822
営業外収益合計	5,822
営業外費用	
減価償却費	13,341
その他	9
営業外費用合計	13,350
経常利益	179,652
特別利益	
移転補償金	24,650
特別利益合計	24,650
税金等調整前四半期純利益	204,302
法人税、住民税及び事業税	62,523
法人税等調整額	5,616
法人税等合計	68,140
四半期純利益	136,162
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,162

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	136,162
四半期包括利益	136,162
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	136,162



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	204,302
減価償却費	21,509
移転補償金	△24,650
売上債権の増減額(△は増加)	△66,155
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127
仕入債務の増減額(△は減少)	95,258
未払金の増減額(△は減少)	△14,816
その他	△50,144
小計	165,177
法人税等の支払額	△95,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,655
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△6,491
無形固定資産の取得による支出	△1,891
敷金及び保証金の差入による支出	△45,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,861
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	63,650
自己株式の取得による支出	△582
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,067
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	78,861
現金及び現金同等物の期首残高	1,509,032
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,587,894

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2020年5月13日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社glamfirstを吸収合併することを決議いたしました。

1 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 株式会社glamfirst

事業の内容 Instagramを活用したマーケティング支援

(2) 企業結合日

2020年8月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、株式会社glamfirstを吸収合併消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社サイバー・バズ

(5) その他取引の概要に関する事項

更なる経営の効率化を図ること等を目的としております。

2 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。